

男女共同参画の推進に関する取組み

平成28年度
さぬき市

● 男女共同参画講演会（同時開催：国際交流企画・パネル展）

講演会の参加者アンケートでは、「主流秩序への加担を減らし、個人の考えを認め、偉ぶらず、人を傷つけず、皆が幸せを感じられるようなやさしい気持ちを持って他者に接していきたい。」「自分らしく生きることが大切。これなら今からでも実践できると思った。」「今日から私ができることは、自分の意見が正しいと思いきまないこと。相手への思いやりを大切にしていきたい。」などの感想がありました。

この日は、県立石田高等学校の生徒による中国語による人形劇やパネル展示なども行われ、自分を大切にするこの意味について理解を深めました。

日時 平成29年2月26日(日) 13:30～15:40

場所 さぬき市津田公民館

内容 講演会「男女共同参画をもとに ～今日から私ができること～」

DV加害者プログラムNOVO運営者、神戸大学、立命館大学非常勤講師 伊田広行 氏

参加者 150名



● 市民グループによる企画事業～男女共同参画推進活動事業(市民企画事業)～

男女共同参画を広く推進するため、市民による市民のための企画事業を募集しました。

平成28年度は、地域で活動する5団体が、講演会の開催や啓発グッズの制作などを行いました。

パープルリボン&オレンジリボンプロジェクト	パインツリー	クリアファイル250枚制作
DV防止啓発と子ども虐待防止啓発活動の認知度向上に向け、さぬき市マスコットキャラクター「さっきー」とDV防止のシンボルカラー「パープル」、子ども虐待防止のシンボルカラー「オレンジ」の3つをコラボした、Wリボンデザインのクリアファイルを制作し、配布することで啓発を行いました。		
「認知症という病気」を理解してみんなで語り合う場をつくろうー男女共同参画の視点からの認知症予防と取り組みを考えるー	さぬき市友好翼の会	参加者のべ106人(全3回)
「認知症」についての正しい知識と理解を深めることの大切さを地域全体で考える、男女共同参画の視点を踏まえた研修会を3回開催しました。研修会では、専門家や関係者等と連携しながら意見交換を重ねました。		
働くことを意識したキャリア教育 出前講座	さぬき市キャリアサポート	対象生徒246名(2回) 教諭17名(1回)
中学生を対象に、将来に向けて自分がなりたい職業に気づき、選び、深める力を育成するとともに、未来に向けて自身の生き方を考え、現在の学校生活をより自主的に取り組めるよう意識づけるセミナー等を、中学校の協力のもとで実施しました。		
災害の疑似体験から学ぼう	さぬき市女性団体連絡会	参加者 104人(3回)
市内で活動する女性団体が、避難所HUGゲーム等の体験学習や実技講習等を通じて自分自身が避難所の運営をする立場になった時の対応方法を具体的に学ぶことで、各団体の立場で意見共有する機会を醸成しました。		
楽家事でいこう!	いきいき市民の会「明風」	参加者 78人(1回)
家事ジャーナリスト 山田亮氏を講師に招き、ワークショップ等を通して、楽しみながらコミュニケーションの大切さを体感できる、「ワーク・ライフ・バランス」の重要性を広める講演会を開催しました。		

● 男女共同参画セミナー 「自分探しのカードゲーム」

さぬき市男女共同参画推進市民サポーターが講師となって、職業選択を題材にしたカードゲームを通して、性別にとらわれず、個性や能力を発揮できる自立した豊かな生き方に気づききっかけづくりを目的としたセミナーを5回開催しました。

参加者
小学生など 43人



● さぬき市男女共同参画出前講座

さぬき市男女共同参画推進市民サポーターが講師となって、市内在住外国人や公民館活動参加者などを対象に、「男女共同参画カルタ」を利用した啓発講座を2回開催しました。参加者には、ゲーム感覚で男女共同参画を学ぶことができたことと好評でした。

参加者
外国人など 37人

